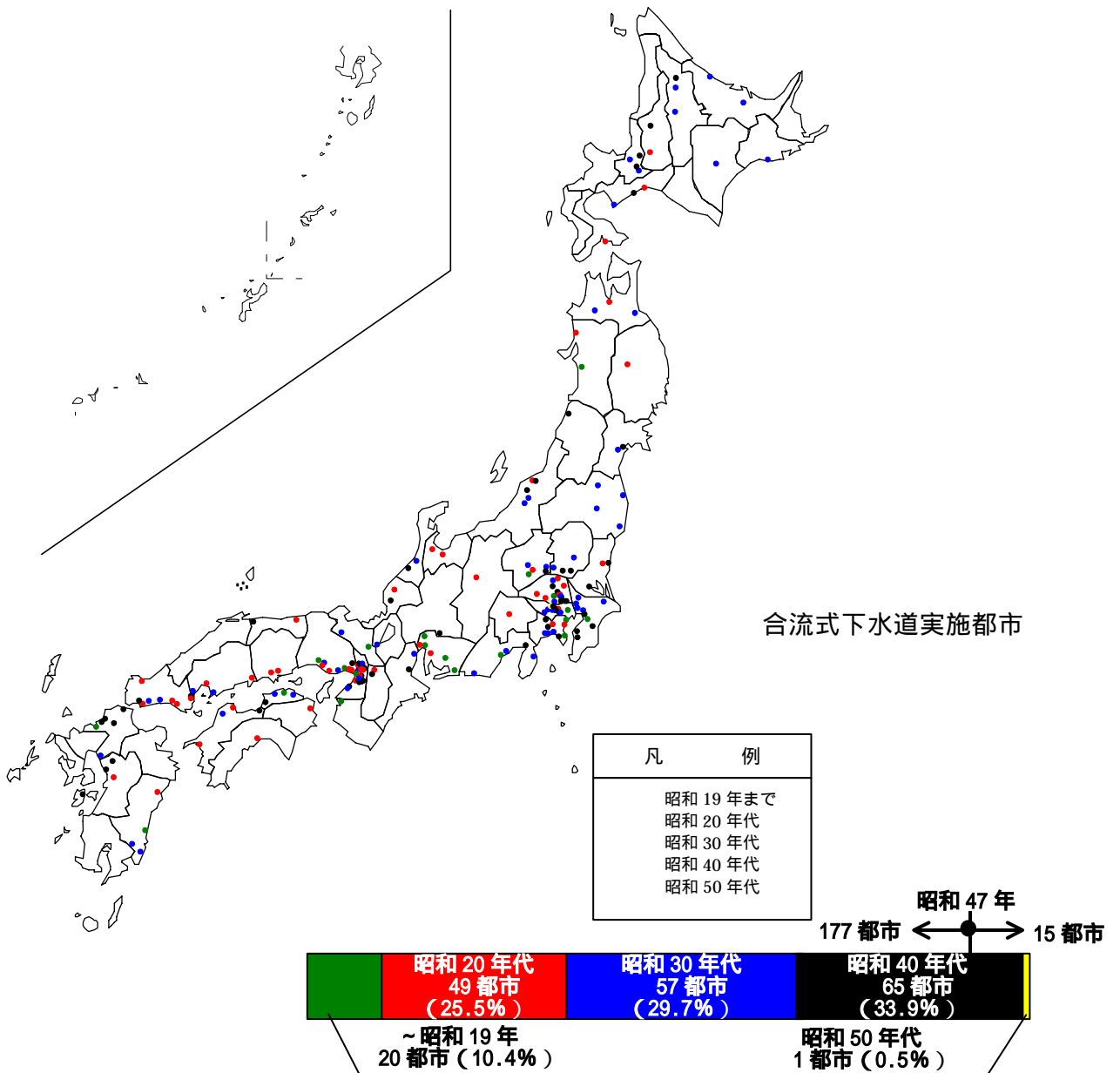


(参考) 合流式下水道の問題とその対策について

合流式下水道とは

- ・下水道の排除方式は「分流式」と「合流式」の2通り。
- ・合流式下水道は、汚水と雨水を同一の管きよで排除する方式。
- ・古くから下水道に着手した大都市を中心に採用されている。(192都市)
- ・昭和45年の下水道法改正を契機に、新規に着手する都市は原則として分流式を採用。

- ・全下水道実施都市数の約1割(192都市)
 - ・全下水道処理区域面積の約2割(21万ha)
 - ・全下水道処理人口普及率の約3割(約20%)
- を合流式下水道が占める。



合流式下水道の構造と問題点

- ・雨天時には汚水に加え雨水が流入するため、管きょ内の流量が増大
- ・処理場に送水できない下水は、未処理のまま雨水吐き室等から公共水域に放流
- ・雨天時放流に伴う水質汚濁の問題が顕在化
- ・東京都お台場海浜公園には、オイルボール（油分が管きょ内で固形化したもの）が漂着



（雨天時の未処理下水放流状況）



（お台場に漂着したオイルボール）

合流式下水道の改善方法

- ・汚濁負荷量削減の観点から、雨水滞水池の設置や遮集量の増大など
- ・公衆衛生上の安全確保の観点から、消毒や吐き口の閉鎖、変更など
- ・きょう雑物の流出防止の観点から、ろ過スクリーンの設置など
- ・各戸ごとの雨水貯留、浸透施設の整備も有効

